

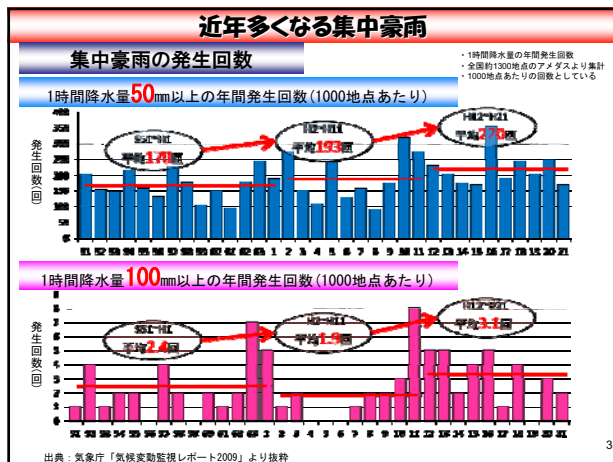
土砂災害防止対策と 地すべり対策事業について

平成23年10月11日
岡山県土木部防災砂防課
課長 坂藤 浩造

1

土砂災害防止対策について

2



3



4

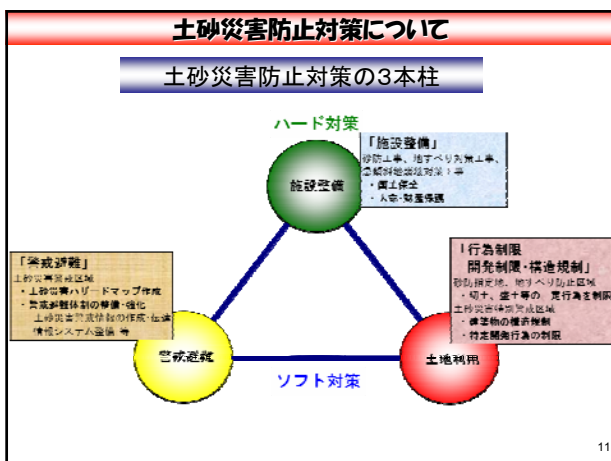
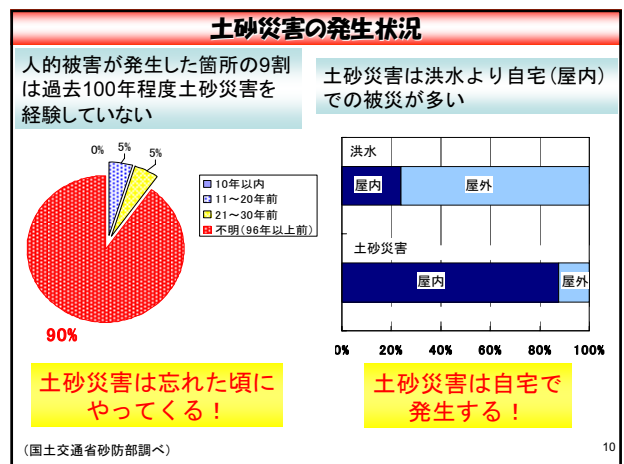
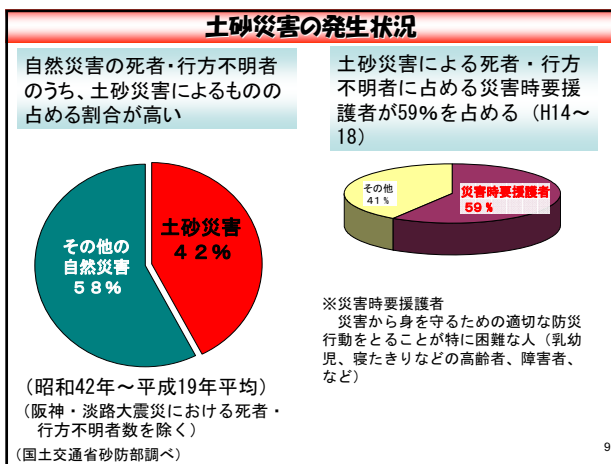


岡山県の土砂災害の発生状況

岡山県の主な土砂災害

No	年月	要因	主な被災地	最大時間雨量	死者行方不明者
1	S47.7	梅雨前線豪雨	県西部	34mm	8人
2	S51.9	台風による豪雨	県南東部・西部	56mm	13人
3	S56.7	梅雨前線豪雨	真庭	105mm	4人
4	H2.9	台風による豪雨	県下全域	71mm	8人
5	H10.10	台風による豪雨	県下全域	54mm	3人
6	H16.10	台風による豪雨	県南部	28mm	6人
7	H18.7	梅雨前線豪雨	県西部	21mm	1人
8	H21.8	台風による豪雨	美作市	58mm	1人

5



- ### 岡山県の土砂災害防止対策
- 岡山県の土砂災害に対する取り組み
- ①砂防施設などの設置工事(ハード対策)
 - ・溪流に砂防堰堤を設置(土石流を防ぐ)
 - ・がけ地にコンクリート擁壁を設置(がけ崩れを防ぐ)
 - ・地下水排除のため横ボーリング、集水井の設置(地すべりを防ぐ)
 - ②土砂災害に対する警戒避難体制の整備(ソフト対策)
 - (市町村、气象台などと連携して警戒避難体制の整備)
 - ・土砂災害の危険のおそれがある箇所の公表(土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域指定箇所などの公表)
 - ・大雨の時に土砂災害に関する情報の発表及び提供(土砂災害警戒情報・土砂災害危険度情報)
 - ・土砂災害に対する防災訓練、知識・意識向上の啓発活動(避難訓練、砂防教室)
- 12

土砂災害危険箇所数の概要

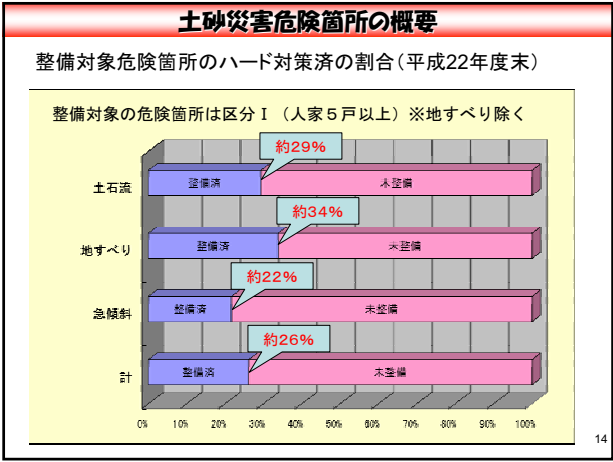
岡山県の土砂災害危険箇所数

区分Ⅰ：人家５戸以上の箇所
 区分Ⅱ：人家１～４戸の箇所
 区分Ⅲ：人家はないが今後新規の住宅立地等が見込まれる箇所
 ※地区すべりは国土交通省所管分で区分はない

土石流危険渓流 (全体)	地すべり危険箇所 (全体)	急傾斜地崩壊危険箇所 (全体)
6,441 渓流	198 箇所	5,360 箇所

上記約12,000箇所の内、整備対象の区分Ⅰ相当の危険箇所数は約5,700箇所

土石流危険渓流 (区分Ⅰ)	地すべり危険箇所 (全体)	急傾斜地崩壊危険箇所 (区分Ⅰ)
3,019 渓流	198 箇所	2,475 箇所



土砂災害対策を取り巻く現状

砂防関係事業で重点的に施設整備を推進しているが、全ての危険箇所には**ハード対策を行うことは、膨大な時間と費用が必要となる。**

市街地の拡大や危険箇所における新興住宅開発など、**がけ崩れ対策を講じる一方で施設整備を必要とする箇所は増加しており、いわば「いたちごっこ」の状態にある。**

土砂災害防止法の制定

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年法律第57号）

土砂災害警戒区域等指定のイメージ

土砂災害警戒区域
＜土砂災害のおそれのある区域＞

警戒避難体制の整備

土砂災害特別警戒区域

建築物の構造規制

特定の開発行為の許可制

特定の開発行為の許可制

建築物の移転

建築物の移転

土砂災害警戒情報について

土砂災害警戒情報とは？

- 平成19年4月1日から運用開始

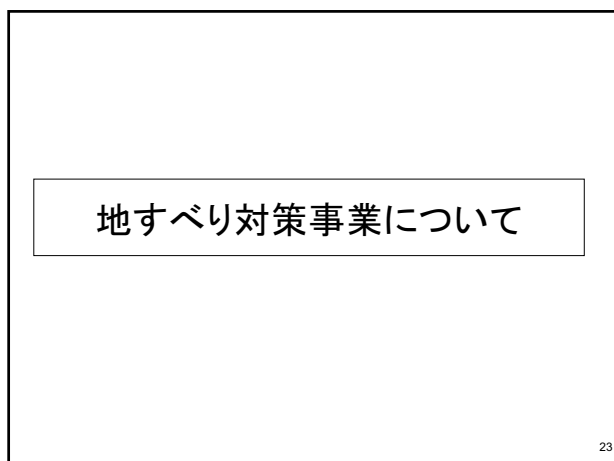
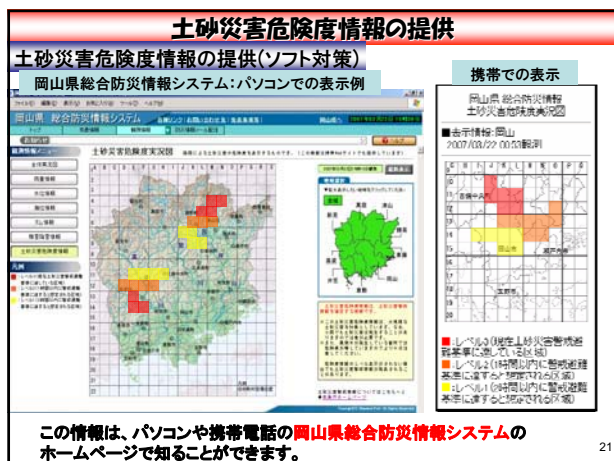
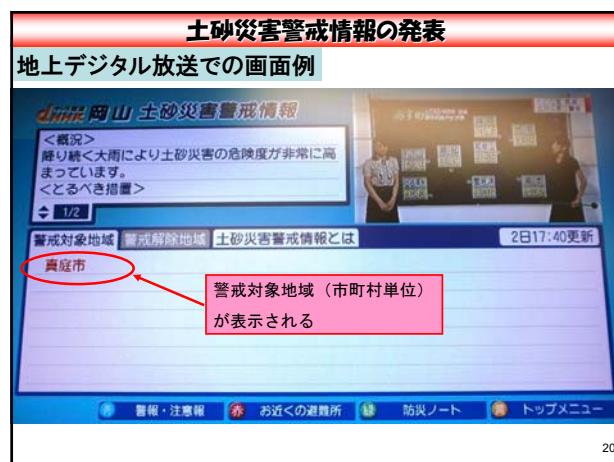
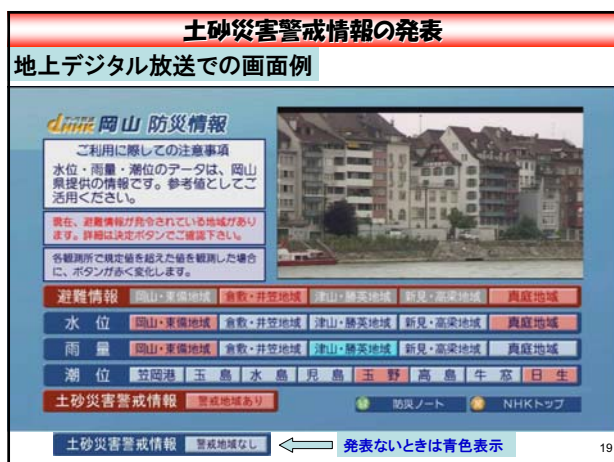
岡山県と岡山地方気象台とが情報交換を行い、土砂災害(がけ崩れ、土石流)の危険性が高まったときに共同発表する情報(大雨警報発表後)

【目的】

1. 市町村長が行う**避難勧告**等の判断材料
2. 住民が自主避難する場合の目安

- 発表単位は、市町村単位。
- 伝達方法
 - ①気象台はテレビやラジオ等を通じて住民に周知
 - ②県は市町村等防災関係機関へ通知
 - ③メール配信、地デジ連携

[illegible]



岡山県の地すべり危険箇所、防止区域

平成23年3月末現在

地すべり防止区域、地すべり危険区域の県土面積に占める割合

岡山県全体 面積(ha)	地すべり危険区域		地すべり防止区域	
	面積(ha)	割合	面積(ha)	割合
711,300	7,064	0.99%	4,667	0.66%

所管別の地すべり防止区域、地すべり危険箇所

所管	地すべり危険箇所		地すべり防止区域		法指定率	
	箇所数 (A)	面積(ha) (B)	箇所数 (C)	面積(ha) (D)	(C)/(A)	(D)/(B)
国土交通省	198	3,143	72	1,371	36.4%	43.6%
林野庁	40	704	22	488	55.0%	69.3%
農村振興局	43	3,217	38	2,907	88.4%	90.4%
計	281	7,064	132	4,766	47.0%	67.5%

岡山県の地すべり防止区域

所管別の地すべり防止区域の面積、割合

平成23年3月末現在

所管	地すべり防止区域		箇所数 構成比 (%)	面積 構成比 (%)	1箇所当り 平均面積 (ha)
	箇所数 (A)	面積(ha) (B)			
国土交通省	72	1,371	54.5%	28.8%	19.04
林野庁	22	488	16.7%	10.2%	22.18
農村振興局	38	2,907	28.8%	61.0%	76.50
計	132	4,766	100.0%	100.0%	36.11

25

岡山県の地すべり危険箇所、防止区域

国土交通省所管分

平成23年3月末現在

地すべり危険箇所、防止区域の内訳

事務所名	地すべり危険箇所				地すべり防止区域			
	箇所数	比率	面積(ha)	比率	箇所数	比率	面積(ha)	比率
備前県民局	22	11.11%	357.7	11.38%	6	8.33%	88.22	6.44%
東備地域事務所	3	1.52%	51.3	1.63%	1	1.39%	20.14	1.47%
備中県民局	4	2.02%	37	1.18%	1	1.39%	6.5	0.47%
井笠地域事務所	11	5.56%	1243.3	39.56%	8	11.11%	138.15	10.08%
高梁地域事務所	61	30.81%	225.6	7.18%	22	30.56%	603.53	44.03%
新見地域事務所	32	16.16%	369.6	11.76%	11	15.28%	190.5	13.90%
美作県民局	26	13.13%	446	14.19%	14	19.44%	151.32	11.04%
真庭地域事務所	23	11.62%	195.8	6.23%	4	5.56%	71.87	5.24%
勝美地域事務所	16	8.08%	216.2	6.88%	5	6.94%	100.58	7.34%
合計	198	100.0%	3142.5	100.0%	72	100.0%	1370.81	100.0%

26

岡山県の地すべり危険箇所

国土交通省所管分
地すべり危険箇所



27

岡山県の地すべり災害

岡山県の過去の主な地すべり災害

発生年月	発生箇所	災害形態	気象状況	被災状況
S47年7月	川上郡川上町天原	地すべり	梅雨前線豪雨	8戸の民家が避難
S60年6月	高梁市高倉町尾崎	地すべり	梅雨前線豪雨	国道180号が高梁川へ最大1m押し出されるなど

川上町天原地区被災状況



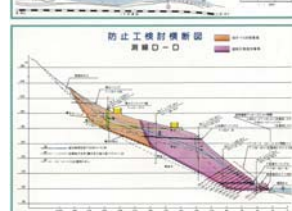
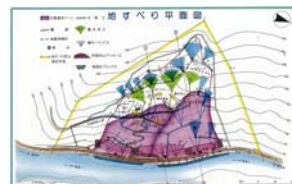
高梁市尾崎地区被災状況



28

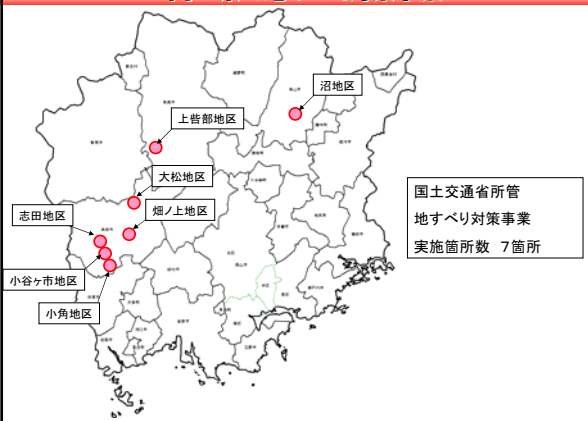
岡山県の地すべり災害

尾崎地区(高梁市)地すべり対策

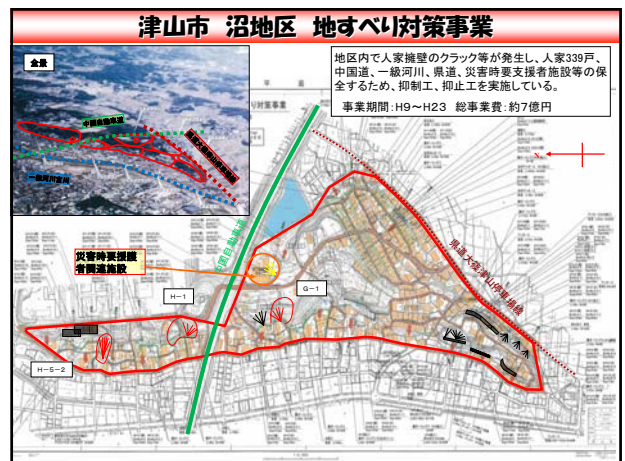
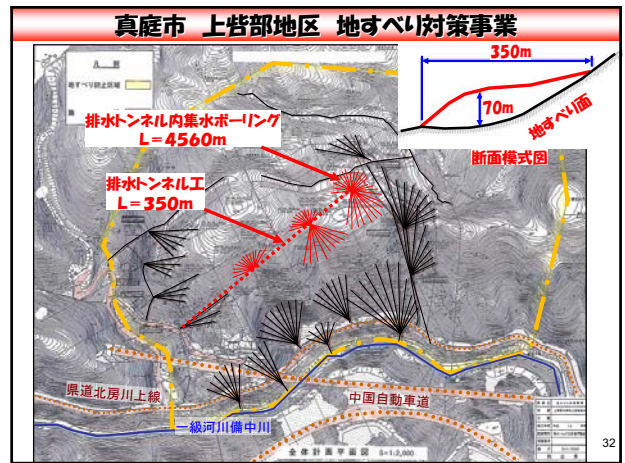


29

岡山県の地すべり対策事業



30



岡山県の地すべり対策事業

○ハード対策

- ・事業予算が減少するなか、事業効果が高く緊急性の高い箇所から計画的な事業推進が必要
- ・地すべり発生後は、対策費用が高くなるため、地すべり兆候の初期段階での対策が必要
- ・災害時要援護者関連施設、避難施設、学校、道路などの公共施設のある箇所、保全家屋の多い箇所など、地すべり危険箇所のうち、緊急性の高い箇所から、重点的に事業を推進する。

○ソフト対策

- ・災害時要援護者関連施設がある地すべり危険箇所から基礎調査に着手し、土砂災害警戒区域等を指定し、警戒避難体制の整備を促進する。

37

ありがとうございました

